

# 小国郷地域公共交通計画

令和6年12月策定

熊本県小国町

熊本県南小国町

## 目次

### 1. 計画の目的と意義

- ①計画策定の目的      ②計画の区域      ③計画の期間      ④計画の位置づけ

### 2. 小国郷の地域公共交通を取り巻く現状及び課題

#### ①小国郷の暮らし

#### ②公共交通の現況

##### 現状1（概要）

##### 現状2（交通施策・交通網図）

- ・路線バス
- ・にじバス
- ・小国郷ライナー
- ・スクールバス運行
- ・福祉有償運送事業
- ・小国町乗合タクシー
- ・南小国町タクシー券交付
- ・一般タクシー

### 3. 交通の課題

#### 課題1（路線バス維持補助金）

#### 課題2（小国郷ライナー）

#### 課題3（小国町乗合タクシー）

#### 課題4（南小国町タクシー券）

#### 課題5（スクールバス運行）

#### 課題6（福祉有償運送）

#### 課題7（にじバスの利用者数増加）

#### 課題8（地域外との交通網構築）

#### 課題9（一般タクシー）

### 4. 交通の方向性

#### 方向性①（小国郷内の交通）

#### 方向性②（小国郷外とのアクセス）

### 5. 計画の数値目標

### 6. 目標達成に向けた施策

### 7. 計画の進捗管理

## 1. 計画の目的と意義

### ①計画策定の目的

当計画は小国町・南小国町（以下「小国郷」という。）における公共交通を主とする交通の方向性を示し、小国郷地域の生活と産業の維持、発展を担うため策定するものである。

### ②計画区域

小国郷地域

### ③計画期間

令和6年度～令和10年度（5か年）

### ④計画の位置づけ

当計画は「地域公共交通計画（地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第5条による）」として策定するものであり、また計画中に交通の現状や課題、方向性を示すとともに、小国郷においての中心市街地の設定とこれによる地域内の人の動き、観光客をはじめとする地域外との交通の在り様を記述することにより、ニーズに合った最適で持続可能な公共交通体系の構築と、利用促進を行うことで、公共交通の維持・活性化に向けた検討を進めるものである。

なお本計画は「第6次小国町総合計画」及び「第4次南小国町総合計画」を上位計画とした計画であるとともに、他の関連する計画との整合性を図り策定するものとする。

また、両町の総合計画でも取り上げているSDGsのなかでも、特にゴール11（住み続けられるまちづくりを）に深く結びつくもの、波及効果として下記のゴールにも資する計画として策定する。

- ・ゴール3（すべての人に健康と福祉を）
- ・ゴール8（働きがいも経済成長も）
- ・ゴール10（人や国の不平等をなくそう）
- ・ゴール13（気候変動に具体的な対策を）



## 2. 小国郷の地域公共交通を取り巻く現状及び課題

### ①小国郷の暮らし

小国郷は小国町、南小国町の2町において生活圏をともしにする地域であり、両町の人口は小国町が約6,500人、南小国町が約3,900人、計10,400人である。（令和5年4月現在）

住民の主な移動手段は自家用車であり、住民の免許保有率は20歳以上80歳未満で、小国町は91%、南小国町でも90%といずれも非常に高くなっている。

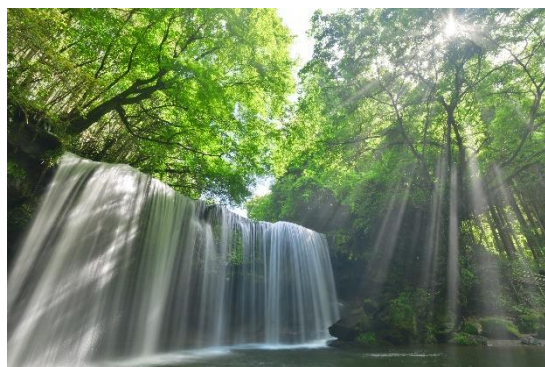
免許保有率（%）

| 年代    | 小国町 | 南小国町 | 小国郷<br>(両町合計) |
|-------|-----|------|---------------|
| 20代   | 87  | 80   | 84            |
| 30代   | 96  | 95   | 96            |
| 40代   | 96  | 98   | 97            |
| 50代   | 95  | 96   | 96            |
| 60代   | 93  | 93   | 93            |
| 70代   | 80  | 80   | 80            |
| 80歳以上 | 26  | 25   | 25            |

両町の主な産業は農業、林業、観光業であるが、ともに熊本県北部に位置することから福岡市、大分市、熊本市、いずれも2時間圏内にあり、福岡方面からも多くの観光客が訪れている。

主な観光地として小国町では杖立温泉、わいた温泉郷があり、南小国町においては黒川温泉、小田温泉、満願寺温泉などが挙げられる。また観光名所として小国町では鍋ヶ滝や北里柴三郎記念館、南小国町では押戸石や夫婦滝、清流の森などがある。

地域内においての商業施設や行政機関、病院等は小国町宮原地区と、南小国町赤馬場地区に集中しており、当地域がいわゆる中心市街地となっている。



## ②公共交通の現況

### 現状①（概要）

小国郷においての主要道路は熊本方面から福岡方面へ抜ける国道212号、菊地・津江方面から小国町を通り宇佐・玖珠方面へ抜ける国道387号、そして小国町から黒川温泉を抜け竹田方面へ抜ける国道442号という3本の国道である。

地域外からのアクセスとして福岡方面は天神・博多駅等から小国郷への高速バス直行便（九州産交バス、日田バス）が1日4往復運行している他、大分県日田市から杖立までの路線バス（日田バス）がある。

一方熊本方面は両町で委託運行する「小国郷ライナー」が肥後大津駅と両町を結ぶ他、阿蘇駅から南小国町を通り杖立温泉までを結ぶ路線バス（産交バス）が走っている。他にも南小国町を経由する九州横断バスが運行されており、熊本市から湯布院、別府、大分市方面をつないでいる。

一方、小国郷内においての交通は、両町を周回する路線バスが2路線運行（通称「ぐるとバス」）、小国町・南小国町の中心市街地を走る「にじバス」の運行がなされている。

小国町においては中心市街地である宮原地区と周辺の6大字を結ぶ「乗合タクシー」が8エリアで運行されており、更に杖立地区と宮原地区を結ぶ路線バスが運行されている。

南小国町においては、普通自動車運転免許証を保有していない65歳以上の高齢者や障がい者などの交通弱者の支援策としてタクシー利用費助成事業（以下「タクシー券交付」という。）を行い、南小国町内はもちろん、宮原地区までの交通手段を確保している。

また両町の一般タクシー事業者として、小国タクシー有限会社、有限会社丸善タクシー、津埜運送株式会社の3社のタクシー事業者が在している。

### 現状②（交通施策）

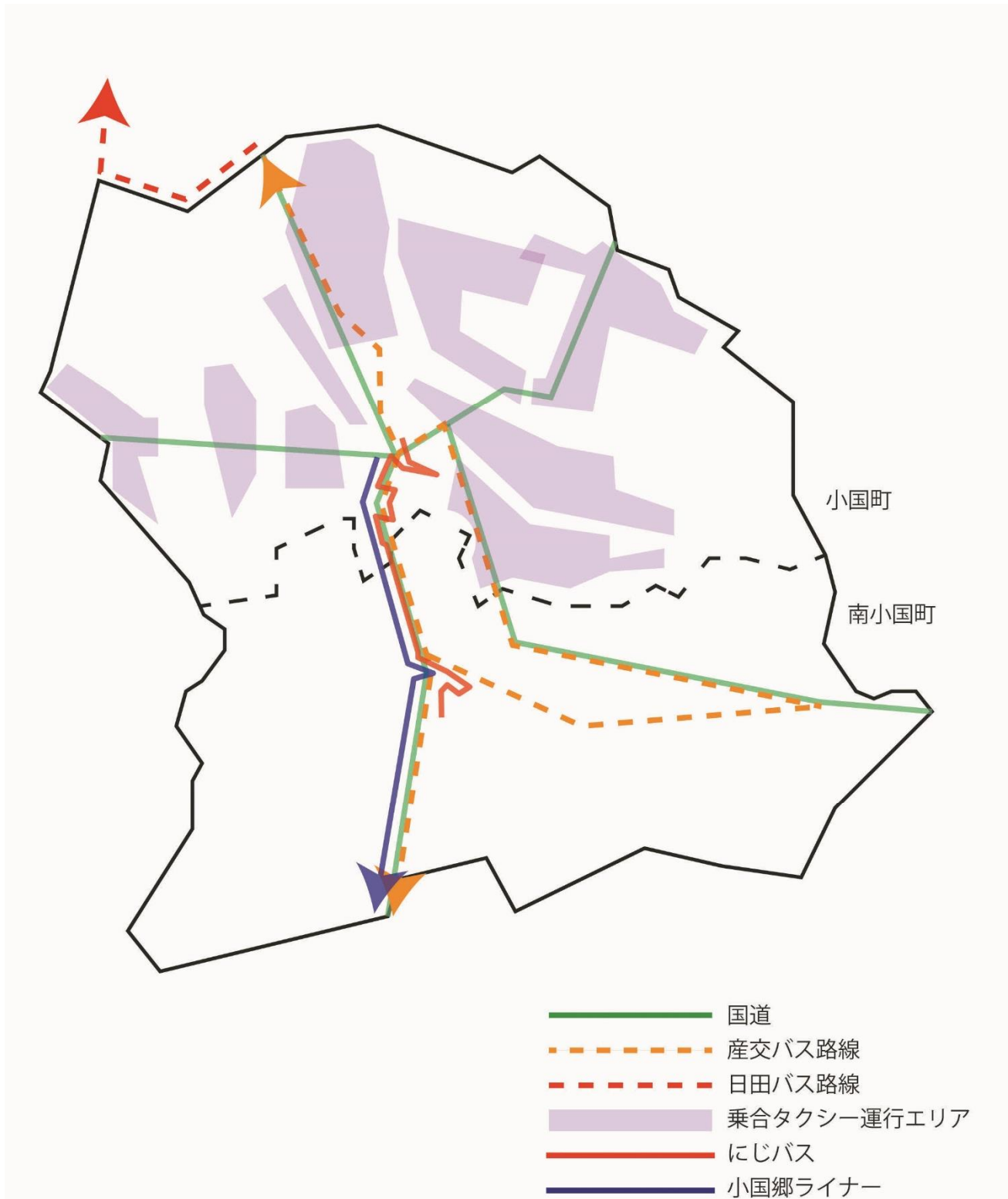
両町の主な交通施策は次のとおりである。

| 小国町                      | 南小国町               |
|--------------------------|--------------------|
| 路線バス補助                   |                    |
| にじバス                     |                    |
| 小国郷ライナー                  |                    |
| スクールバス運行                 |                    |
| 乗合タクシー                   | タクシー券交付            |
| 福祉有償運送<br>(小国町社会福祉協議会事業) | 福祉有償運送<br>(南小国町事業) |

小国町では乗合タクシー、南小国町ではタクシー券交付、そして両町ともに路線バスの運行補助と、にじバス及び小国郷ライナーの委託運行、更にスクールバスを運行している。

また更に、両町ともに要介護者や身体障がい者等を対象とした福祉有償運送も行われており、小国町においては小国町社会福祉協議会が、そして南小国町においては町が事業主体として実施している。

【現在の小国郷公共交通網】



# 【交通施策別歳出額】

これらの交通施策に対し令和4年度小国町では路線バス補助に 2,807 万円、にじバス運行に 492 万円、小国郷ライナー運行に 316 万円、乗合タクシー事業に約 2,291 万円、スクールバス運行に 4,706 万円、計 10,614 万円を支出しており、南小国町では路線バス補助に 2,898 万円、にじバス運行に 211 万円、小国郷ライナー運行に 422 万円、タクシー券交付に 1,192 万円、スクールバス運行に 1,324 万円と計 6,082 万円を支出している。

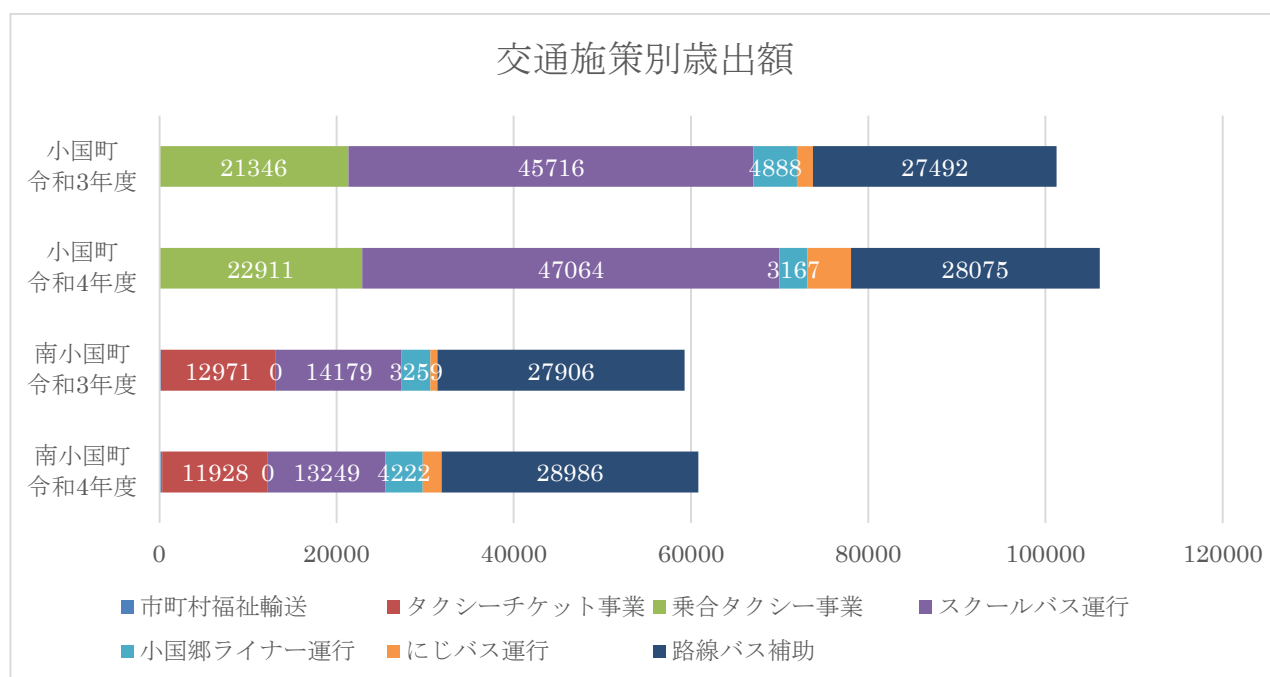
## 施策別歳出額（4月～3月）

（単位：千円）

| 項目         | 小国町     |         | 南小国町   |        |
|------------|---------|---------|--------|--------|
|            | R3年度    | R4年度    | R3年度   | R4年度   |
| 路線バス補助     | 27,492  | 28,075  | 27,906 | 28,986 |
| にじバス運行     | 1,827   | 4,923   | 783    | 2,110  |
| 小国郷ライナー運行  | 4,888   | 3,167   | 3,259  | 4,222  |
| スクールバス運行   | 45,716  | 47,064  | 14,179 | 13,249 |
| 乗合タクシー事業   | 21,346  | 22,911  |        |        |
| タクシーチケット事業 |         |         | 12,971 | 11,928 |
| 市町村福祉有償運送  |         |         | 192    | 333    |
| 合計         | 101,269 | 106,140 | 59,290 | 60,828 |

※小国町の合計金額には小国町社会福祉協議会実施の福祉有償運送事業に係る費用も含まれる。

※にじバスは令和3年10月からの運行。



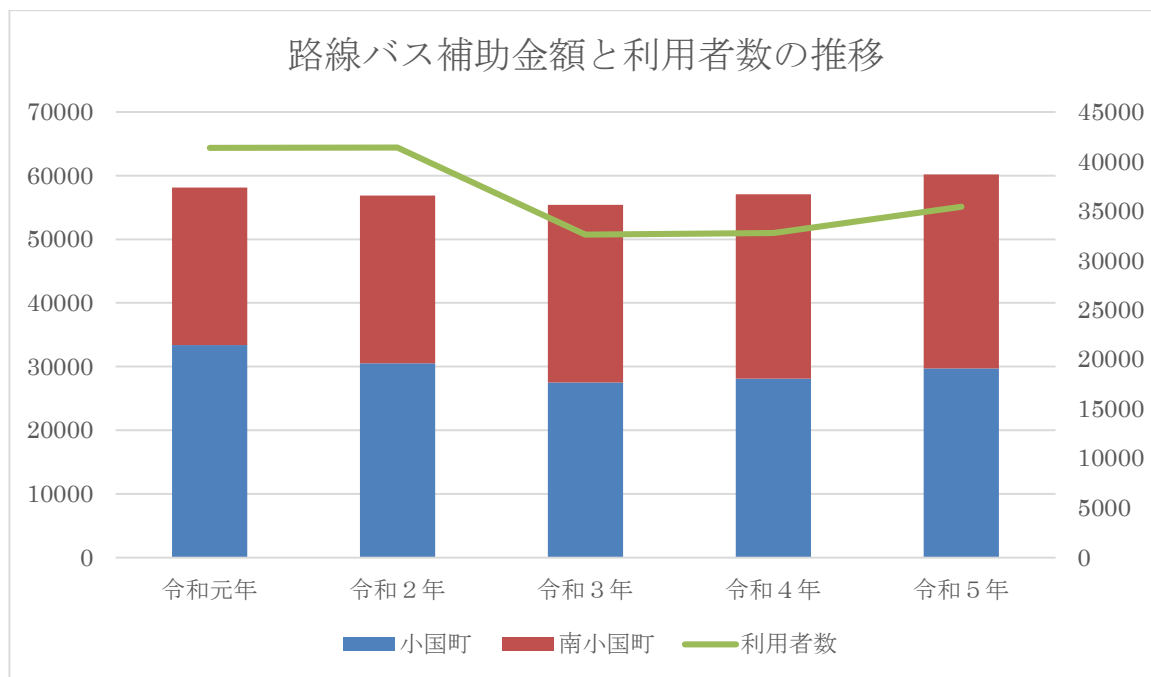
(路線バス)

路線バスの年間利用者数、補助金額等については下記のとおり。

路線ごとのバス補助金額等

(令和4年10月から令和5年9月まで1年間)

| 起点                   | 終点                 | 年間<br>利用者数 | 補助金額<br>(千円) | 平均乗<br>車密度<br>(人) | 事業者  | 補助<br>自治体 |
|----------------------|--------------------|------------|--------------|-------------------|------|-----------|
| 阿蘇駅前                 | 杖立                 | 15,480     | 12,580       | 1.0               | 産交バス | 小国町       |
| 小国産交前<br>(ぐるっとバス)    | 黒川                 | 1,242      | 1,091        | 0.8               | 産交バス | 小国町       |
| ゆうステーション<br>(ぐるっとバス) | ゆうステーション<br>(黒川経由) | 7,101      | 4,542        | 0.9               | 産交バス | 小国町       |
| ゆうステーション             | 杖立                 | 1,431      | 7,457        | 0.2               | 産交バス | 小国町       |
| 日田                   | 杖立                 | 10,171     | 4,017        | 1.2               | 日田バス | 小国町       |
| 計                    |                    |            | 29,687       |                   |      |           |
|                      |                    |            |              |                   |      |           |
| 阿蘇駅前                 | 杖立                 | 15,480     | 13,827       | 1.0               | 産交バス | 南小国町      |
| 小国産交前<br>(ぐるっとバス)    | 黒川                 | 1,242      | 1,374        | 0.8               | 産交バス | 南小国町      |
| ゆうステーション<br>(ぐるっとバス) | ゆうステーション<br>(黒川経由) | 7,101      | 15,314       | 0.9               | 産交バス | 南小国町      |
| 計                    |                    |            | 30,515       |                   |      |           |



※令和2年3月、岳の湯線廃止。

（にじバス）

にじバスについては両町中心市街地内の移動手段として、両町において公用車（ワゴン車）を購入し、運行受託事業者に車両を貸与のうえ、令和3年10月から運行を開始している。令和3年10月から令和4年3月まで、令和4年3月から令和5年3月までの利用者数及び運賃、現在の運行路線図や時刻表は下記のとおりとなっている。

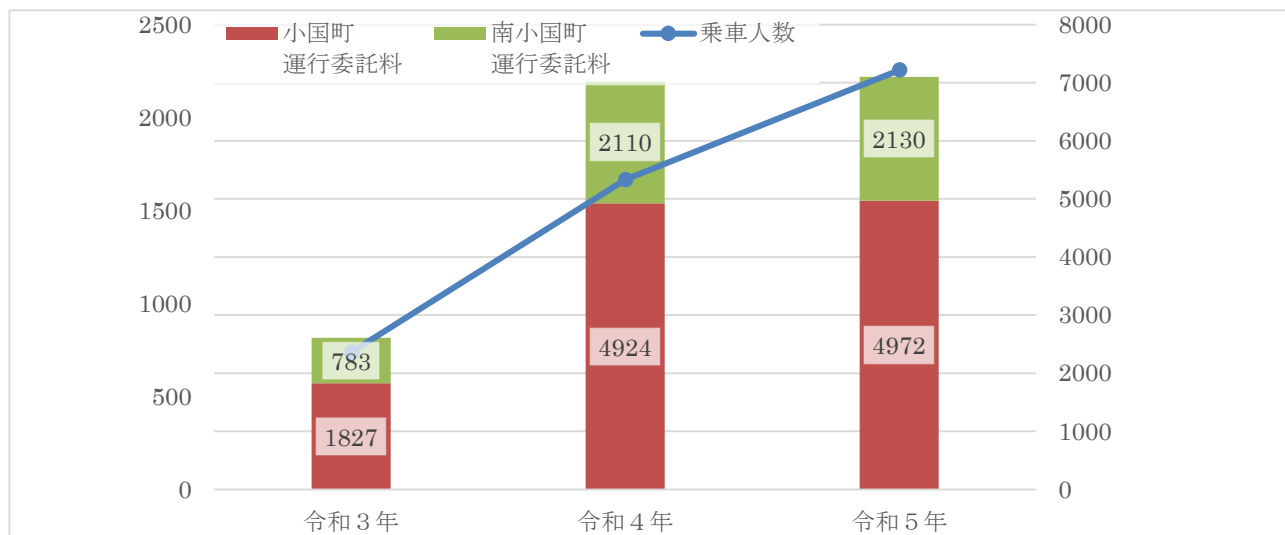
にじバス運行実績（令和3年度～令和5年度まで）

（単位：人）

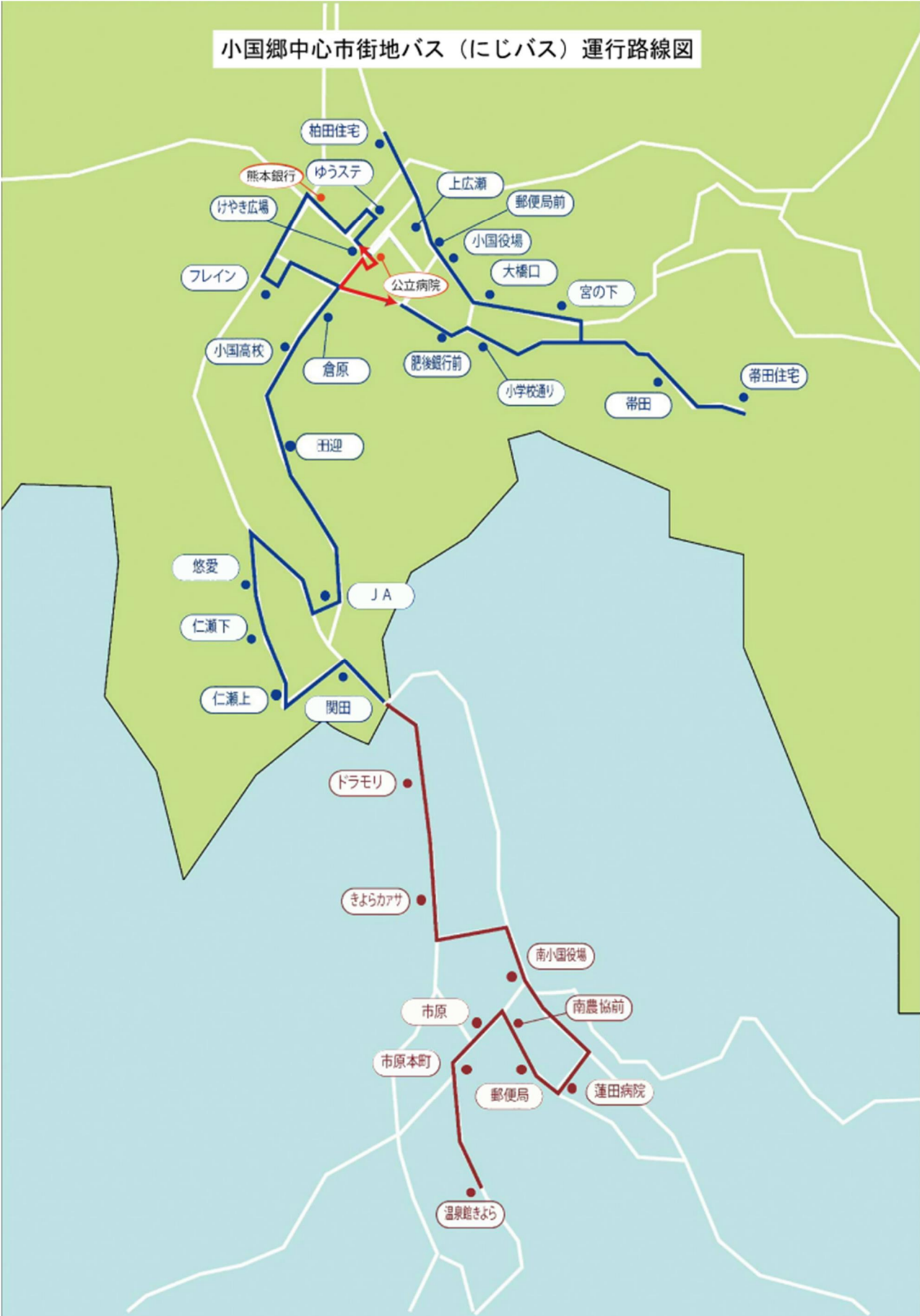
| 年度 | 乗車人数  |  | 往路    | 復路    |
|----|-------|--|-------|-------|
| R3 | 739   |  | 381   | 358   |
| R4 | 1,667 |  | 824   | 843   |
| R5 | 2,257 |  | 1,255 | 1,002 |

（単位：千円）

| 年度 | 運行委託料 |  | 小国町負担額 | 南小国町負担額 |
|----|-------|--|--------|---------|
| R3 | 2,610 |  | 1,827  | 783     |
| R4 | 7,034 |  | 4,924  | 2,110   |
| R5 | 7,102 |  | 4,972  | 2,130   |



(図1) にじバス運行路線図(令和6年4月1日現在)



# 小国郷中心市街地バス（にじバス）時刻表

| 柏田住宅前行き<br>(小国方面・上り) |      |       |       |       |       |
|----------------------|------|-------|-------|-------|-------|
| バス停                  | 1便   | 2便    | 3便    | 4便    | 5便    |
| 温泉館きよら               | 8:00 | 9:45  | 11:30 | 13:15 | 15:00 |
| 市原本町                 | 8:01 | 9:46  | 11:31 | 13:16 | 15:01 |
| 市原                   | 8:01 | 9:46  | 11:31 | 13:16 | 15:01 |
| 南小国町農協前              | 8:02 | 9:47  | 11:32 | 13:17 | 15:02 |
| 南小国町郵便局              | 8:02 | 9:47  | 11:32 | 13:17 | 15:02 |
| 蓮田クリニック              | 8:03 | 9:48  | 11:33 | 13:18 | 15:03 |
| 南小国町役場               | 8:05 | 9:50  | 11:35 | 13:20 | 15:05 |
| きよらかサ                | 8:07 | 9:52  | 11:37 | 13:22 | 15:07 |
| ドラモリ                 | 8:08 | 9:53  | 11:38 | 13:23 | 15:08 |
| 関田                   | 8:10 | 9:55  | 11:40 | 13:25 | 15:10 |
| 仁瀬上                  | 8:11 | 9:56  | 11:41 | 13:26 | 15:11 |
| 仁瀬下                  | 8:12 | 9:57  | 11:42 | 13:27 | 15:12 |
| 悠愛                   | 8:13 | 9:58  | 11:43 | 13:28 | 15:13 |
| JA                   | 8:14 | 9:59  | 11:44 | 13:29 | 15:14 |
| 田迎                   | 8:15 | 10:00 | 11:45 | 13:30 | 15:15 |
| 小国高校前                | 8:16 | 10:01 | 11:46 | 13:31 | 15:16 |
| 倉原                   | 8:17 | 10:02 | 11:47 | 13:32 | 15:17 |
| フレイン                 | 8:18 | 10:03 | 11:48 | 13:33 | 15:18 |
| 熊本銀行前                | 8:21 | 10:06 | 11:51 | 13:36 | 15:21 |
| ゆうステーション             | 8:23 | 10:08 | 11:53 | 13:38 | 15:23 |
| けやき広場                | 8:25 | 10:10 | 11:55 | 13:40 | 15:25 |
| 公立病院                 | 8:27 | 10:12 | 11:57 | 13:42 | 15:27 |
| 肥後銀行前                | 8:30 | 10:15 | 12:00 | 13:45 | 15:30 |
| 小学校通り                |      | 10:16 | 12:01 | 13:46 |       |
| 帯田住宅                 | 8:32 | 10:17 | 12:02 | 13:47 | 15:32 |
| 帯田                   | 8:33 | 10:18 | 12:03 | 13:48 | 15:33 |
| 宮の下                  | 8:34 | 10:19 | 12:04 | 13:49 | 15:34 |
| 小国大橋口                | 8:35 | 10:20 | 12:05 | 13:50 | 15:35 |
| 小国町役場                | 8:36 | 10:21 | 12:06 | 13:51 | 15:36 |
| 郵便局前                 |      |       |       |       |       |
| 上広瀬                  | 8:37 | 10:22 | 12:07 | 13:52 | 15:37 |
| 柏田住宅前                | 8:38 | 10:23 | 12:08 | 13:53 | 15:38 |

| 温泉館きよら行き<br>(南小国方面・下り) |      |       |       |       |       |
|------------------------|------|-------|-------|-------|-------|
| バス停                    | 1便   | 2便    | 3便    | 4便    | 5便    |
| 柏田住宅前                  | 8:55 | 10:40 | 12:25 | 14:10 | 15:55 |
| 上広瀬                    |      |       |       |       |       |
| 郵便局前                   | 8:56 | 10:41 | 12:26 | 14:11 | 15:56 |
| 小国町役場                  | 8:57 | 10:42 | 12:27 | 14:12 | 15:57 |
| 小国大橋口                  | 8:58 | 10:43 | 12:28 | 14:13 | 15:58 |
| 宮の下                    | 8:59 | 10:44 | 12:29 | 14:14 | 15:59 |
| 帯田                     | 9:00 | 10:45 | 12:30 | 14:15 | 16:00 |
| 帯田住宅                   | 9:01 | 10:46 | 12:31 | 14:16 | 16:01 |
| 小学校通り                  | 9:03 | 10:48 | 12:33 | 14:18 | 16:03 |
| 肥後銀行前                  | 9:04 | 10:49 | 12:34 | 14:19 | 16:04 |
| 公立病院                   | 9:07 | 10:52 | 12:37 | 14:22 | 16:07 |
| けやき広場                  | 9:09 | 10:54 | 12:39 | 14:24 | 16:09 |
| ゆうステーション               | 9:11 | 10:56 | 12:41 | 14:26 | 16:11 |
| 熊本銀行前                  | 9:13 | 10:58 | 12:43 | 14:28 | 16:13 |
| フレイン                   | 9:15 | 11:00 | 12:45 | 14:30 | 16:15 |
| 倉原                     | 9:16 | 11:01 | 12:46 | 14:31 | 16:16 |
| 小国高校前                  | 9:17 | 11:02 | 12:47 | 14:32 | 16:17 |
| 田迎                     | 9:18 | 11:03 | 12:48 | 14:33 | 16:18 |
| JA                     | 9:19 | 11:04 | 12:49 | 14:34 | 16:19 |
| 悠愛                     | 9:20 | 11:05 | 12:50 | 14:35 | 16:20 |
| 仁瀬下                    | 9:21 | 11:06 | 12:51 | 14:36 | 16:21 |
| 仁瀬上                    | 9:22 | 11:07 | 12:52 | 14:37 | 16:22 |
| 関田                     | 9:23 | 11:08 | 12:53 | 14:38 | 16:23 |
| ドラモリ                   | 9:25 | 11:10 | 12:55 | 14:40 | 16:25 |
| きよらかサ                  | 9:26 | 11:11 | 12:56 | 14:41 | 16:26 |
| 南小国町役場                 | 9:28 | 11:13 | 12:58 | 14:43 | 16:28 |
| 蓮田クリニック                | 9:30 | 11:15 | 13:00 | 14:45 | 16:30 |
| 南小国町郵便局                | 9:31 | 11:16 | 13:01 | 14:46 | 16:31 |
| 南小国町農協前                | 9:31 | 11:16 | 13:01 | 14:46 | 16:31 |
| 市原                     | 9:32 | 11:17 | 13:02 | 14:47 | 16:32 |
| 市原本町                   | 9:32 | 11:17 | 13:02 | 14:47 | 16:32 |
| 温泉館きよら                 | 9:33 | 11:18 | 13:03 | 14:48 | 16:33 |

※南小国町行きの便は「上広瀬」バス停に停車しません。  
 ※小国町行きの便は「郵便局前」バス停に停車しません。

（小国郷ライナー）

小国郷ライナーについては、令和元年度以前において利用者数は増加傾向であったが、コロナ禍により令和２年度は前年の４４％になり、令和３年度においては更に利用者が減少。令和３年度からは車両の規模縮小を図ったが、利用者数の減少は両町の負担額の増加につながっている。

なお小国郷ライナーは通年で現在ミルクロードを経由するルートを走っているが、１月と２月については路面の積雪、凍結の恐れがあることから運休としている。

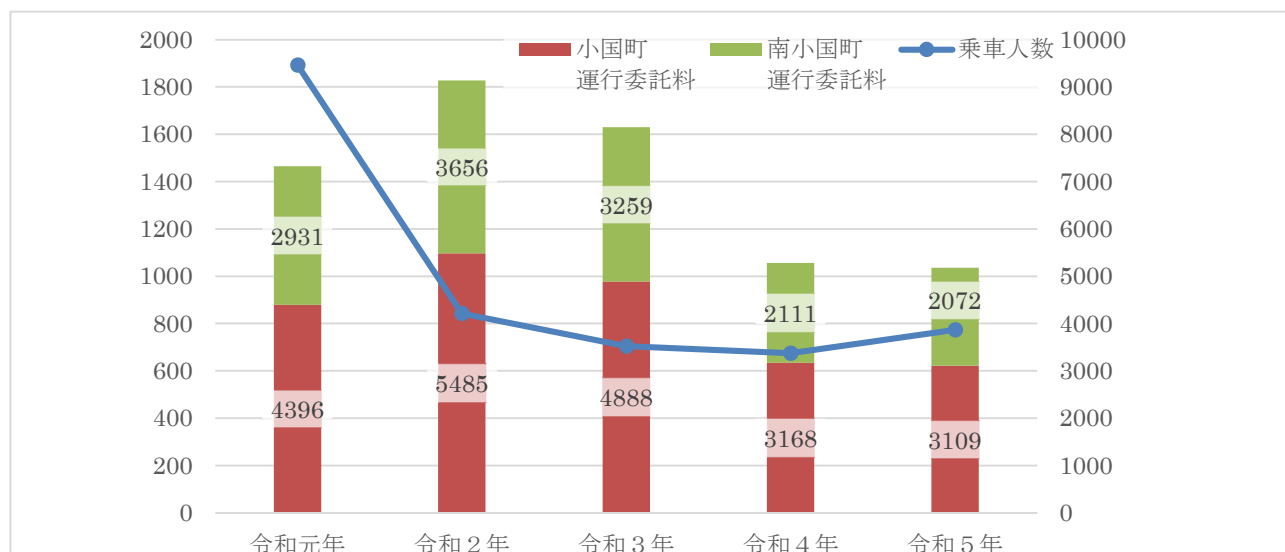
小国郷ライナー運行実績（４月～３月）

（単位：人）

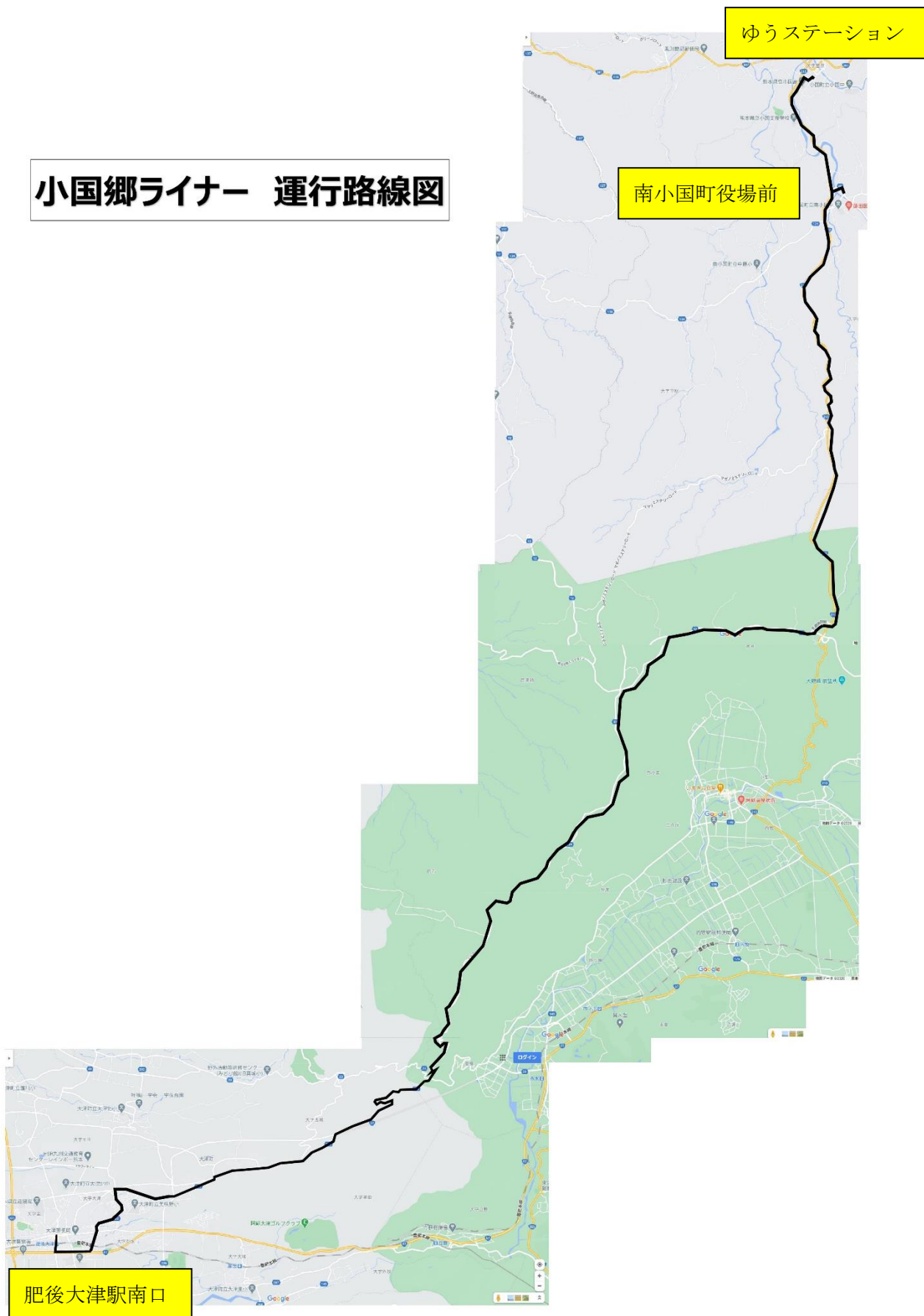
| 年度 | 乗車人数  | 小国町乗降者数 | 南小国町乗降者数 |
|----|-------|---------|----------|
| R元 | 1,893 | 1,319   | 574      |
| R2 | 842   | 619     | 223      |
| R3 | 704   | 469     | 235      |
| R4 | 675   | 506     | 169      |
| R5 | 774   | 585     | 189      |

（単位：千円）

| 年度 | 運行委託料 | 小国町負担額 | 南小国町負担額 |
|----|-------|--------|---------|
| R元 | 7,327 | 4,396  | 2,931   |
| R2 | 9,141 | 5,485  | 3,656   |
| R3 | 8,144 | 4,888  | 3,259   |
| R4 | 5,279 | 3,168  | 2,111   |
| R5 | 5,181 | 3,109  | 2,072   |



# 小国郷ライナー 運行路線図



## 小国郷ライナー時刻表

| 小国・南小国 ⇒ 大津駅行き |          |         |             |        |
|----------------|----------|---------|-------------|--------|
|                | ゆうステーション | 南小国町役場前 | かぶと岩展望所（休憩） | 大津駅・南口 |
| 1便             | 8:00     | 8:06    | 8:30~8:40   | 9:15   |
| 3便             | 16:00    | 16:06   | 16:30~16:40 | 17:15  |

| 大津駅 ⇒ 南小国・小国行き |        |             |         |          |
|----------------|--------|-------------|---------|----------|
|                | 大津駅・南口 | かぶと岩展望所（休憩） | 南小国町役場前 | ゆうステーション |
| 2便             | 9:25   | 10:00~10:10 | 10:33   | 10:40    |
| 4便             | 17:30  | 18:05~18:15 | 18:38   | 18:45    |

【運行期間】

令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（日）

※ただし、令和5年1月、2月は除く

【運行日】

火、金、土、日曜日及び祝日

【運賃】

ゆうステーション ～ 肥後大津駅 1,500円

南小国役場前 ～ 肥後大津駅 1,390円

### （小国町乗合タクシー）

小国町において実施されている乗合タクシー事業については、周辺部から中心市街地である宮原地区を結ぶ公共交通として、現在8つの区域に分けて運行されている。区域内の乗降は基本的に場所を指定しないが、中心市街地においては指定された8つの乗降場所のみとしている。

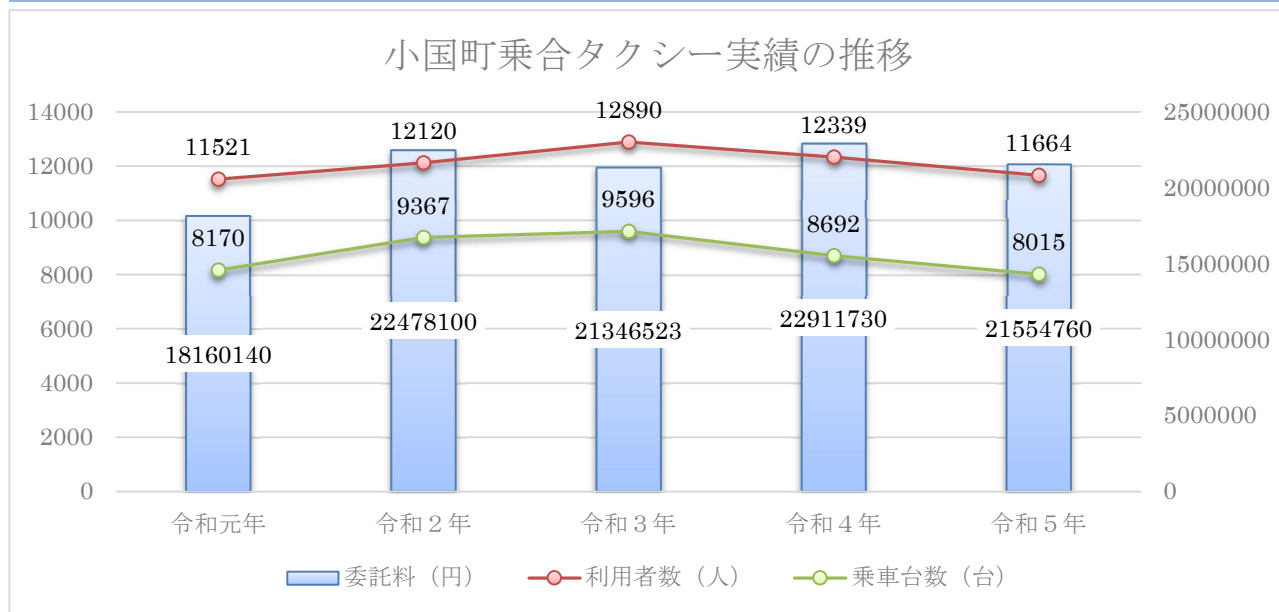
利用には前日までに予約し、予約がある場合のみ区域ごとに3～4往復が運行されている。

利用者数については年度ごとに増減しており、一台当たりの利用者数は微増。委託料も微増の傾向にある。

乗合タクシーの事業メリットとして、利用者が「乗り合い」でタクシーを利用することで、利用者一人当たりの支出を抑える効果が挙げられるが、一台当たりの利用者数は伸び悩みを示している。

小国町乗合タクシー実績（4月～3月）

| 年度 | 利用者数<br>(人) | 乗車台数<br>(台) | 一台当たり利用者数<br>(人) | 委託料<br>(円) | 一人当たり委託料<br>(円) |
|----|-------------|-------------|------------------|------------|-----------------|
| R元 | 11,521      | 8,170       | 1.41             | 18,160,140 | 1,576           |
| R2 | 12,120      | 9,367       | 1.29             | 22,478,100 | 2,400           |
| R3 | 12,890      | 9,596       | 1.34             | 21,346,523 | 2,522           |
| R4 | 12,339      | 8,692       | 1.42             | 22,911,730 | 1,857           |
| R5 | 11,664      | 8,015       | 1.46             | 21,554,760 | 1,848           |



（スクールバス運行）

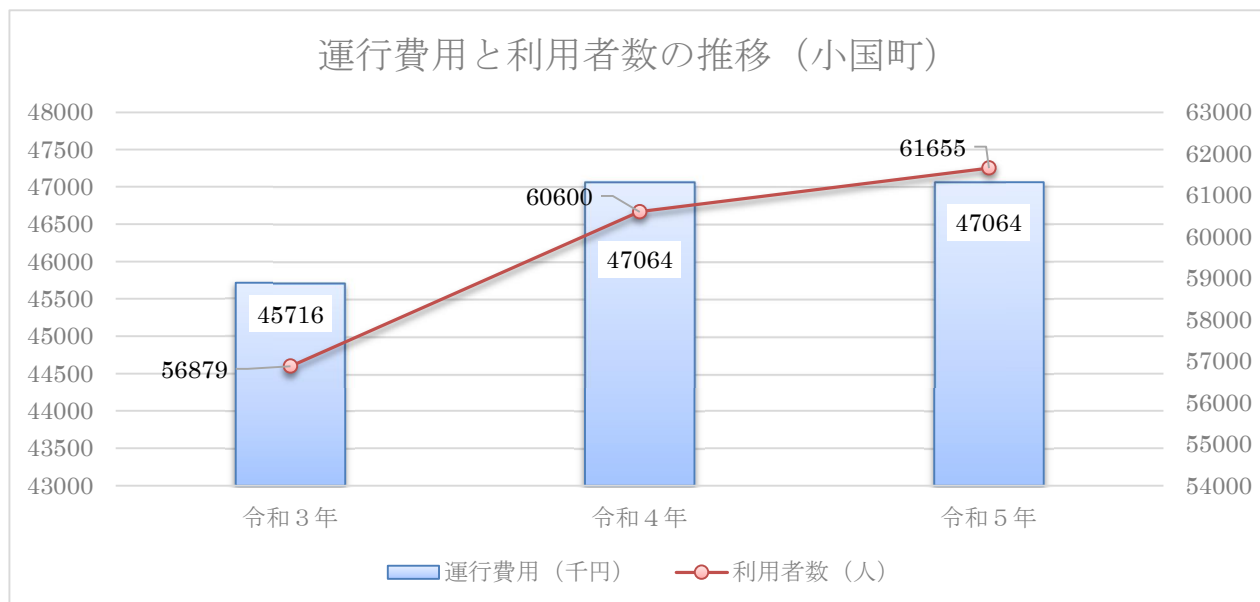
スクールバスは両町ともに運行しており、小国町のスクールバスについては、平成21年の小学校統廃合を機に始まったものである。現在は学校までの登校距離が2kmを超える児童を対象として、6台の車両で8路線を賄っている。

利用実績としては令和5年度の延べ利用者数 61,655 人、年間の運行費用は 47,064 千円となっている。

運行経路については、毎年の児童数、居住地区等から修正が加えられ、車両1台当たりの乗車人数を高めるよう講じられており、一人あたりの運行費用は減っている傾向にある。

（小国町：4月～3月まで）

| 年度 | 延べ利用者数（人） | 運行費用（千円） | 延べ一人あたりの運行費用 |
|----|-----------|----------|--------------|
| R3 | 56,879    | 45,716   | 約 804 円      |
| R4 | 60,600    | 47,064   | 約 777 円      |
| R5 | 61,655    | 47,064   | 約 736 円      |

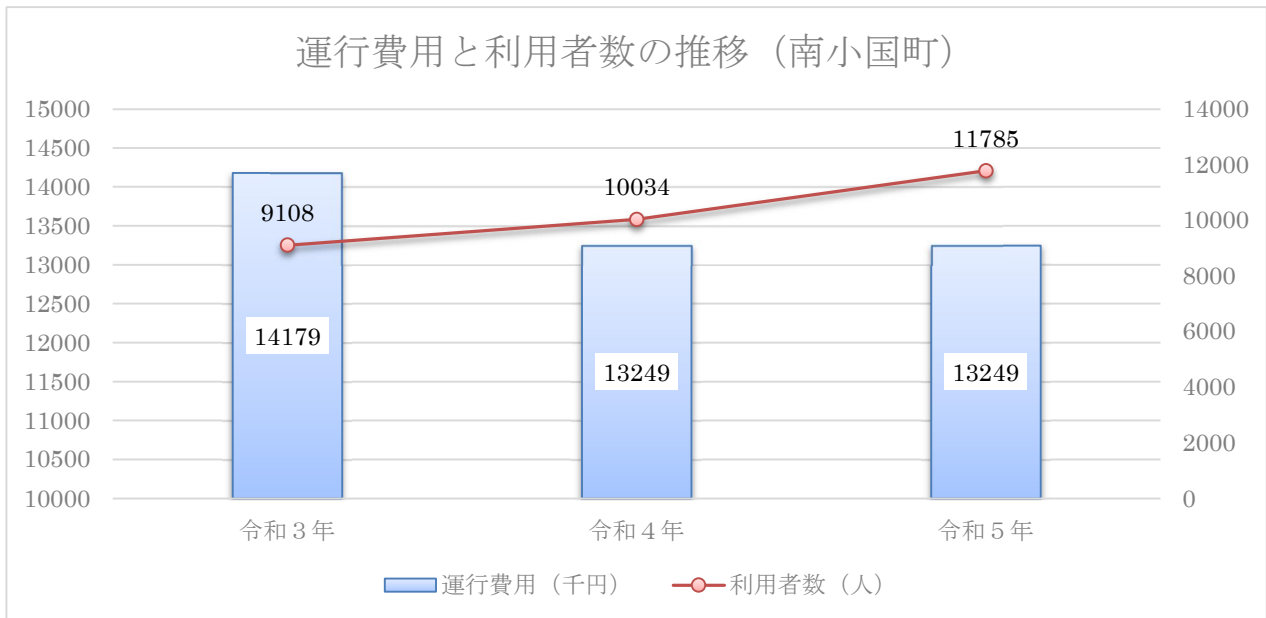


次に南小国町のスクールバスについては、平成16年の3校統合（満願寺小学校、黒川小学校、星和小学校）を機に地域への対応として徒歩通学が不可能となった地区の児童を対象として始まり、現在は対象地区を「小字単位」で設定している。

利用実績としては令和5年度の延べ利用者数は 11,785 人と、R3年度から増加傾向にあり、年間の運行費用は 1,324 万円となっている。また、延べ1人当たりの運行費用は児童数の増加や行事や部活動のスクールバスの利用増加により、減少している。

(南小国町：4月～3月まで)

| 年度 | 延べ利用者数（人） | 運行費用（千円） | 延べ一人当たりの運行費用 |
|----|-----------|----------|--------------|
| R3 | 9,108     | 14,179   | 約 1,557 円    |
| R4 | 10,034    | 13,249   | 約 1,320 円    |
| R5 | 11,785    | 13,249   | 約 1,124 円    |



#### （福祉有償運送事業）

福祉有償運送事業についても両町実施しているが、それぞれにおいて実施主体は異なっている。

小国町の福祉有償運送は、道路運送法第78条第2号により、小国町社協が事業主体となっていて行われている。平成21年度に小国町社協の独自事業として始まり、平成24年からは阿蘇郡内の複数の社協が合同で協議会を設立し、事業を行っている。

事業開始当時は、小国郷内に民間による介護タクシーといったサービスはなく、身体障害者や要介護者といった外出困難者への福祉運送サービスの提供を目的として始められたものであった。

利用者は要介護認定3以上の方、もしくは身体障害者手帳2級を保持する方に限られており、また利用目的は通院に限られている。

年間の収益は令和5年度で11,050円であり、延べ利用者数は24人である。

利用者数の減少については、事業開始後に地域内において民間の介護タクシー事業が開始されたことが要因としてあげられる。なお民間の介護タクシー事業は福祉有償運送事業と比較すると、利用者負担額は割高となるものの、利用制限が少ないため、利用しやすくなっている。

(4月～3月まで)

| 年度 | 延べ利用者数（人） | 収益（円）  |
|----|-----------|--------|
| R元 | 101       | 32,000 |
| R2 | 99        | 38,000 |
| R3 | 37        | 7,200  |
| R4 | 20        | 0      |
| R5 | 24        | 11,050 |

一方南小国町においても、道路運送法第78条第2号により福祉有償運送事業を行っており、町が南小国町社会福祉協議会に事業を委託し、有償運送を行っている。平成15年に南小国町の独自事業として始まり、平成18年から今の有償運送制度になった。

この事業は、高齢者が永年住み慣れた地域の中で引き続き生活していくことを支援し、保健福祉の向上を図ることを目的としている。

利用者はおおむね65歳以上の要介護高齢者で一般の交通機関を利用することが困難な方、おおむね60歳以上の要介護者であって、下肢が不自由な方に限られており、また利用目的は通院に限られている。

年間の収益は令和5年度で27,750円であり、延べ利用者数は110人である。利用者数は、現在横ばいの状況が続いている。

（4月～3月まで）

| 年度 | 延べ利用者数（人） | 収益（円）  |
|----|-----------|--------|
| R元 | 119       | 27,500 |
| R2 | 54        | 11,500 |
| R3 | 81        | 17,500 |
| R4 | 139       | 28,750 |
| R5 | 110       | 27,750 |

（南小国町タクシー券交付）

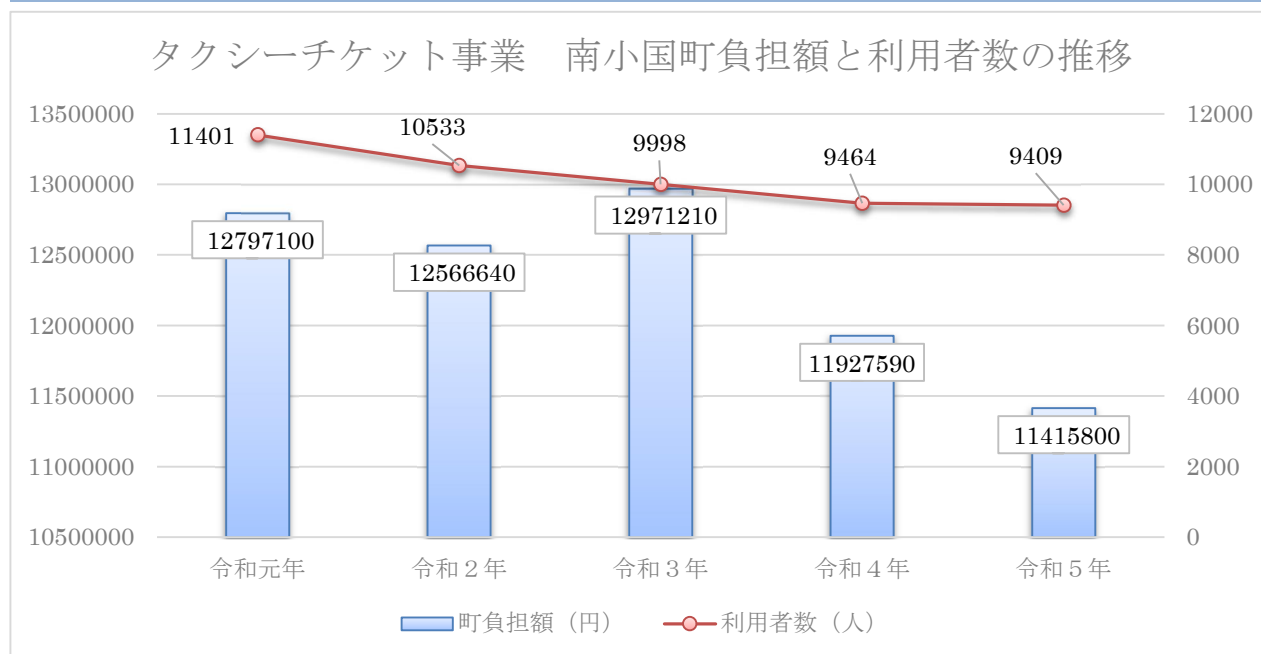
最後に南小国町におけるタクシーチケット事業については、それまで実施していた乗合タクシー事業からこのチケット制に切り替え、平成29年から実施されている。

この事業は、南小国町全域と小国町の宮原地区内の移動で、小国郷内のタクシーを利用する際に、1回（片道）500円で利用できる券を年間最大50枚交付するものである。利用登録者は、65歳以上で乗用車の運転免許を有していない方、身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所有している方、若しくは介護保険認定者で乗用車の運転免許を有していない方に限られている。

直近の令和5年度の配布枚数は15,649枚、年間の利用者数、メーター料金、町の負担額は下記のとおりとなる。

### 南小国町タクシー券（4月～3月）

| 年度 | 利用者数<br>(人) | 一枚当たり<br>利用者数 (人) | メーター料金<br>(円) | 町負担額<br>(円) |
|----|-------------|-------------------|---------------|-------------|
| R元 | 11,401      | 1.29              | 17,194,600    | 12,797,100  |
| R2 | 10,533      | 1.3               | 16,596,140    | 12,566,640  |
| R3 | 9,998       | 1.26              | 16,940,710    | 12,971,210  |
| R4 | 9,464       | 1.26              | 15,688,090    | 11,927,590  |
| R5 | 9,409       | 1.29              | 15,054,300    | 11,415,800  |



### （一般タクシー）

先述のとおり、小国郷に所在のあるタクシー事業者は小国タクシー有限会社、有限会社丸善タクシー、津埜運送株式会社の3社があり、小国町の乗合タクシー事業やにじバス・小国郷ライナーの運行、スクールバスの運行などをそれぞれに委託している。

### 3. 交通の課題

#### 課題①（路線バス維持補助金）

路線バス運行に対する補助金については、いずれの路線においても近年の物価上昇、人件費の高騰などの影響により増加傾向にあるが、その反面利用者数は減少が続いており、利用者1人当たりの補助金額は年々増加している。

なかでも、宮原地区と杖立を結ぶ杖立線は、令和4年10月から令和5年9月までの期間で平均乗車密度は0.2人とほかの路線と比べても極端に少ない。

この路線は日田市から小国町を結ぶ日田・杖立線との接続として、また主に杖立地区をはじめとした大字下城地区住民の生活路線として運行されているが、この路線と同じルートを通る、杖立・阿蘇駅線があり、また乗合タクシーの田原・弓田線の運行エリアと重複する地区もあることから利用者数が少ない原因と考えられる。

今後の方針としては、交通施策の効率化のため、乗合タクシー運行エリアの拡大や、杖立・阿蘇駅線（路線バス）への統合を進めていく必要がある。

#### 課題②（小国郷ライナー）

令和元年度にまでは利用者数の伸びを見せていた小国郷ライナーもコロナ禍によりその数を大きく落としており、利用をやめた方々の回帰やJR九州（豊肥本線）などとの連携を行い、観光客などの利用者を増やす取り組みを進める必要がある。

また令和2年10月に二重の峠トンネルを通る国道57号北側ルート（以下「北側ルート」という。）と、阿蘇から立野を通る従来の国道57号線が開通したことから、これまでミルクロードの路面凍結を避け、運行を見合わせていた1月、2月においてもルートを変更することで運行が可能となったため、冬季期間の運行についても再検討が必要である。

#### 課題③（小国町乗合タクシー）

小国町において運行されている乗合タクシーは、タクシー1台当たりの利用者数を増加させることにより、利用者1人当たりの経費を下げるのが望まれるが、小国町は地形的に中心市街地から周辺部へと谷筋を放射状に道路が伸びており、谷をつなぐ経路が限られることから、運行エリアの集約が難しいため、1台当たりの利用者数増加の妨げとなっている。

また令和2年5月から令和5年3月までの間は、新型コロナウイルス感染症対策として1台当たりの利用者数を2名に制限していたため、より一層非効率的な運行となった。

利用者の面からも、利用には前日までの予約を必要としており、住民にとっても急な用件での外出に対応できていないほか、観光客が利用するうえで地域名を知らないなど非常に使いにくいものとなっている。

またキャッシュレス決済にも対応していない点も課題の一つである。

#### 課題④（南小国町タクシー券）

南小国町において実施しているタクシー券交付は 1 人当たりの年間使用枚数が 50 枚と限られており、高齢者の一人暮らし世帯など家族に普通自動車運転免許を保有している者がいない方々は枚数が足りなくなるケースも見られるため、今後は交付枚数等を検討していく必要がある。

#### 課題⑤（スクールバス運行）

両町ともに運行しているスクールバスについては、総じて子どもの減少による利用者の減が予測される。しかしながら燃料油価格の高騰などの世界的情勢による費用の増額も懸念されるため、運行する便数の増減を行いながら効率的に学校へ向かうためのルートや時間の編成が必要である。また、集落がない山間部からの通学対応については課題となっている。

#### 課題⑥（福祉有償運送事業）

小国町社会福祉協議会が実施している福祉有償運送については、現在 4 台の車両にて運行しているが、この車両に関する維持管理費が主な支出となっている。

当事業は利用料金を低く抑えていることから、収益は上がっておらず、現状は利用者が少ないことが課題として挙げられる。また、今後も利用者が増加する傾向にもない。

#### 課題⑦（にじバスの利用者数増加）

小国郷における中心市街地は概ね小国町宮原、南小国町赤馬場に集中していることから、中心市街地内の移動手段や、二次交通としてにじバスを運行している。にじバスの利用者は小国町・南小国町の住民が多いことから、地域に根差したコミュニティ交通を目指していく必要がある。運行から 1 年が経過した令和 4 年 10 月から運行時刻の再編等を実施している。なお令和 6 年 1 月から 3 月までの 3 ヶ月間は乗車無料キャンペーンを実施し、利用客は大きく伸びを見せた。より使いやすい中心市街地バスとして、運行ルート及び料金等について検討を重ねていく必要がある。

#### 課題⑧（地域外との交通網構築）

地域外と小国郷を結ぶ公共交通については、バスによるアクセスに頼るのみであり、福岡方面からの黒川直通バスと日田市からの路線バス。熊本方面からは阿蘇駅からの杖立行きバス、そして小国郷ライナーとなり、南小国町においては、これに九州横断バスの運行がある。

福岡方面からは黒川直通バスにより、乗り継ぎのないかたちで小国郷へのアクセスが確保されているが、この路線も予約制であり、利用者の増減によっては予約が取れない状況

も過去には起きている。

一方熊本方面からは南小国町を経由する九州横断バスにより直通のアクセスが確保されているが、小国町は経由しない。また南小国町においても、この横断バスは観光客を主な対象としてダイヤを組んでいるため、住民が利用しやすい公共交通としては小国郷ライナーとなっている。

そして両町共通して課題となっているのが、地域外からの入り込み客、観光客を回遊させる地域内での交通、いわゆる二次交通の確保である。

現状では自家用車以外の入り込み客については、タクシーを使った移動に限られているため（乗合タクシーによる移動も可能だが、前日予約が必要であり、土地勘がない場合予約が困難である。）、不十分な状況である。

#### 課題⑨（一般タクシー）

一般タクシーにおいては、両町の地域住民による利用が主となっているが、利用者の減少や運転手不足が課題として挙げられる。

## 4. 交通の方向性

小国郷を取り巻く地域公共交通の状況は人口減少や移動需要の減少などによる公共交通利用者の減少、物価高騰などによる経費増加によって、両町の財政負担は増加している。しかしながら、地域の公共交通はなくてはならないものであり、持続可能な交通体系を目指すため、現在の利用者の利用機会増加と新たな交通利用者を獲得することが重要である。両町の地域住民や交通事業者などの関係者が参画している小国郷地域公共交通会議を意見形成の場とし、にじバスや小国郷ライナーなどのコミュニティバスの運行を行っていく。

以上のことを踏まえ、「地域ニーズに沿った誰もが使いやすい持続可能な交通」を将来的に目指す姿として設定し、利便性の向上を図っていく。

交通施策の方向性として、小国郷における交通の現状、課題から小国郷内の公共交通は、利用形態が大きく2つに分かれると考える。1つは小国郷内の両町住民のための交通。もう1つは小国郷外から訪れる観光客のための交通である。これを踏まえ、今後の公共交通のあり方としての方向性を下記のとおりとする。

#### 【方向性①（住民のための小国郷内の交通）】

まず小国郷内住民の公共交通を考えると、先に述べた通り、小国郷ではほとんどの公共施設や商業施設が中心市街地（宮原、赤馬場地区）に集中していることから、いかにして中心市街地である宮原地区（小国町）、赤馬場地区（南小国町）までの交通を確保し、そのうえで中心市街地を巡る交通を確保するか、という流れになる。

これについて、小国町においては周辺部から中心市街地への交通は乗合タクシーの運行、

南小国町においてはタクシーチケットの活用、両町中心市街地内の移動については、にじバスの運行により確保されている。このことから両町において円滑とはいかないものの、目的地への移動は確保できている状態にあり、今後ともこの運行形態を維持・継続していく方針である。

小国町のスクールバスについては、児童減少による空席を減らすため、中学生においてスクールバス希望者を募り、登校時のみ乗車をしており、なるべく空席がなくなるような取組を行っている。今後、中学校の社会体育移行を行うにあたって小国中学校や小国高校、南小国中学校と連携した社会体育のあり方、スクールバスの運行を行う必要がある。運行ルートについては毎年見直しを行い、運行台数については、児童生徒数の減少により、集約可能な時期に見直しを行っていく。

#### <交通施策それぞれについての方針>

##### ●小国町乗合タクシー

小国町の乗り合いタクシーについては、利用者の利便性向上、そして利用状況データ把握を目的にキャッシュレス決済などの導入を進める。

このキャッシュレスサービス導入と併せ、新たな予約システム構築により、前日までの予約を必要とする現状の仕組みを改善し、利用者の利便性を向上させる。

小国町の高齢化率は既に4割を超えており、高齢者による運転事故は全国的に見ても大きな課題となっている。小国町においても、今後は免許返納を行う高齢者の数は増加していくことが予想され、公共交通の利用者数は増加するものと考えている。今後は傾向や利用者ニーズに沿って路線や時間の見直しを図っていく方針である。

##### ●南小国町タクシー券

南小国町においてのタクシー券交付事業だが、令和元年度に実施した利用者アンケートの結果によると交付枚数に対する意見はあるものの、タクシー券交付自体に対する満足度は約9割の方が満足との回答を得ている。

南小国町総合計画にも盛り込まれているとおり、今後も高齢者・障がい者について、生活に不可欠な買物・通院等のための移動手段を確保するため、タクシー利用を推奨し、交付枚数等更に利便性を向上させる仕組みを検討しながらタクシー券交付事業を継続的に推進していく方針である。

##### ●にじバス

中心市街地を運行するにじバスについては、定期的な運行ルートや時刻表の再編を行うとともに、乗車料金や乗車回数券など、頻繁に利用する方がお得となるような仕組みも検討し、利用者の増加を図る。

##### ●路線バス（ゆうステーション⇄杖立温泉）

路線バスについては、利用客増加に向けて路線バス運行事業者と連携を図っていくが、

ゆうステーションから切原・築瀬経由杖立行きの路線バスについては、課題でも述べたように、交通施策の効率化のため、乗合タクシー運行エリアの拡大や、杖立・阿蘇駅線（路線バス）への統合を進めていく必要がある。

### ●一般タクシー

一般タクシーについては、今後両町ともに高齢者の公共交通などの利用が増加する可能性はあり、公共交通事業などと組み合わせながらの利用者増加を目指し、地域の足を担う事業者との密な意見交換や現状把握などを進める必要がある。

### 【方向性②（観光客等町外からのアクセス）】

小国郷外とのアクセスについては、大きくは福岡方面からのアクセスと、熊本（阿蘇）方面からのアクセスとに分けられる。

#### <交通施策それぞれについての方針>

#### ①福岡方面からのアクセス

福岡方面からのアクセスとしては、既存の黒川直行便（杖立、ゆうステーション、南小国町役場経由）と、日田市から杖立温泉を運行する路線バスの継続が重要と考える。

### ●黒川直行便（福岡市⇄黒川温泉）

黒川直行便については、現状は全便予約制となっており、コロナ禍以前は常時ほぼ満席の便であったが、コロナ禍による利用者数の減少がみられた。しかしながら、利用者の回復が見られており、福岡からの有効な移動手段と考えている。

### ●路線バス（日田市⇄杖立温泉）

日田市から杖立温泉を結ぶ路線バスについては、コロナ禍は減少したが、観光客は回帰しつつあるため、利用者数の動向を見つつ引き続き運行するための必要な支援等を行う方針である。

### ②熊本方面からのアクセス

次に熊本方面からのアクセスについては、現状大きく分けて3つの選択肢があり、小国郷ライナー、九州横断バス、阿蘇駅から杖立温泉までの路線バスとなる。

### ●小国郷ライナー

小国郷ライナーに関しては、地域内と熊本中心部を結ぶ交通手段として、小国郷内の利用者に限らず、阿蘇くまもと空港から小国郷への交通手段としても活用されており、重要な役割を果たしている。運行時期、便数や料金については改善の余地があるが、利用者増加のための広報活動などを実施しながら、事業を推進していく方針である。

## ●九州横断バス

九州横断バスに関しては、熊本方面から別府方面へ向かい、小国郷を経由するバスであり、観光客にとって黒川温泉への重要な交通手段でもあるため、利用者増加のため交通事業者と連携を続けていく。

## ●路線バス（阿蘇駅⇄杖立温泉）

阿蘇駅からの路線バスに関しては、熊本県地域公共交通計画内でも幹線公共交通の一つとして重要な位置づけであるとともに、阿蘇中心部と小国郷を結ぶ交通手段として、小国郷としてなくてはならないものであるため、交通事業者と連携を進めながら運行を推進していく方針である。

# 5. 計画の目標とする指標

前章の方向性をもとに、小国郷公共交通における数値指標を以下に掲げる。

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 数値指標① | 路線バスの年間補助金額                        |
| 選定理由  | 両町の財政状況等を鑑みながら、持続可能な公共交通の維持を目指すため。 |

路線の再編、他の交通政策への統合も含め、路線バスの年間補助金額の減を目指す。

|              |   |              |
|--------------|---|--------------|
| 現況値（令和5年度）   | ⇒ | 目標値（令和10年度）  |
| 60,202 千円 ※1 |   | 53,000 千円 ※1 |

（※1）小国町・南小国町合算の数値

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 数値指標② | にじバスの利用者数                             |
| 選定理由  | コミュニティバスを継続させるためには利用者を増加させていく必要があるため。 |

両町の中心市街地をまたぐ「にじバス」について、利用者数の増加を目指す。

|            |   |             |
|------------|---|-------------|
| 現況値（令和5年度） | ⇒ | 目標値（令和10年度） |
| 2,257 人    |   | 2,500 人     |

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 数値指標③ | 小国郷ライナーの利用者数                          |
| 選定理由  | コミュニティバスを継続させるためには利用者を増加させていく必要があるため。 |

小国郷から肥後大津駅を結ぶ「小国郷ライナー」の利用者増加を目指す。

|            |   |             |
|------------|---|-------------|
| 現況値（令和５年度） | ⇒ | 目標値（令和１０年度） |
| 774 人      |   | 1,800 人     |

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 数値指標④ | 小国町乗合タクシー１台当たりの平均乗車人数        |
| 選定理由  | 限りある車両台数の中で効率的な運用を行う必要があるため。 |

小国町で運行している乗合タクシーの効率を上げるため、１台当たりの平均乗車人数の増加を目指す。

|            |   |             |
|------------|---|-------------|
| 現況値（令和５年度） | ⇒ | 目標値（令和１０年度） |
| 1.46 人     |   | 2.0 人       |

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 数値指標⑤ | 南小国町タクシー券助成事業１台当たりの平均乗車人数    |
| 選定理由  | 限りある車両台数の中で効率的な運用を行う必要があるため。 |

南小国町で実施しているタクシー券助成事業の効率を上げるため、１台当たりの平均乗車人数の増加を目指します。

|            |   |             |
|------------|---|-------------|
| 現況値（令和５年度） | ⇒ | 目標値（令和１０年度） |
| 1.29 人     |   | 2.0 人       |

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 数値指標⑥ | スクールバスの運行継続                        |
| 選定理由  | 遠方からの生徒が公平に教育を受けることができる環境を継続させるため。 |

通学時における安全確保のため、運行中のスクールバスの運行継続を目指す。

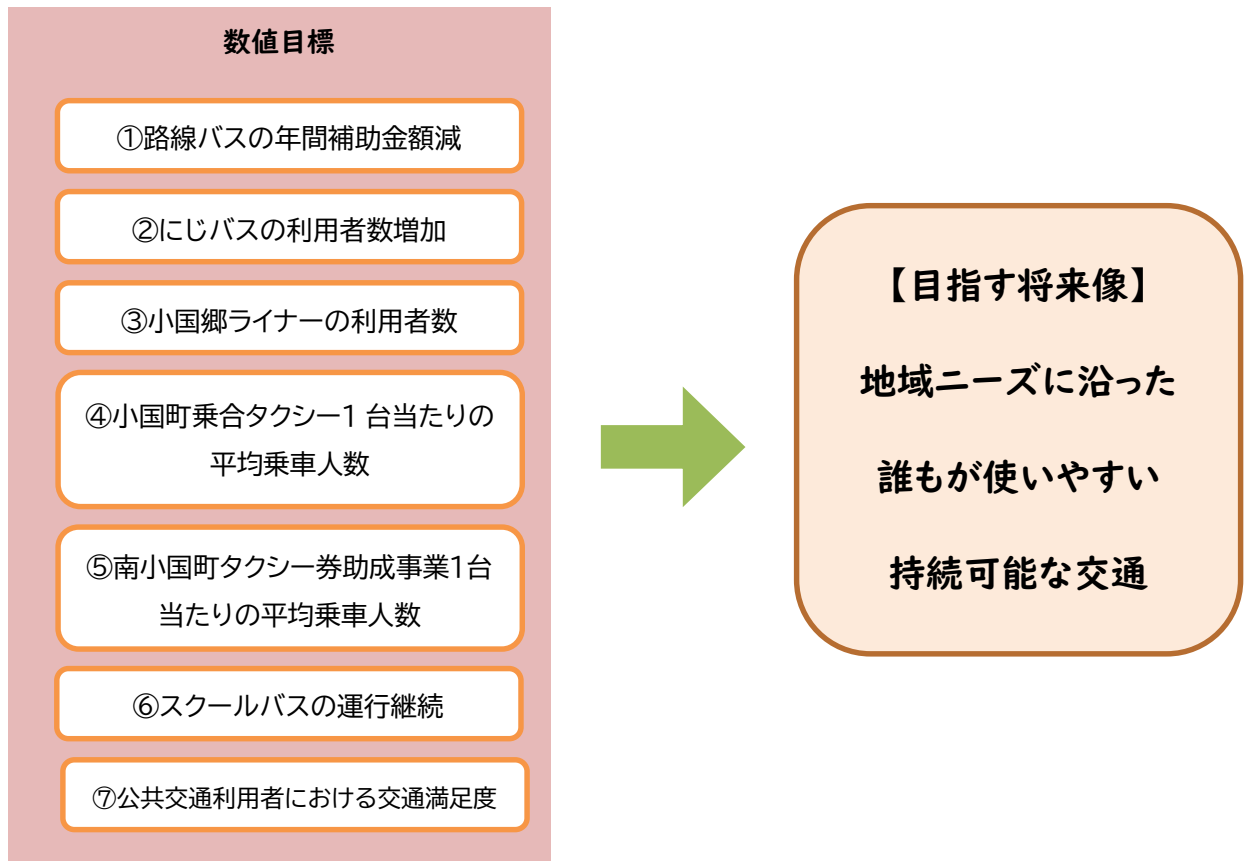
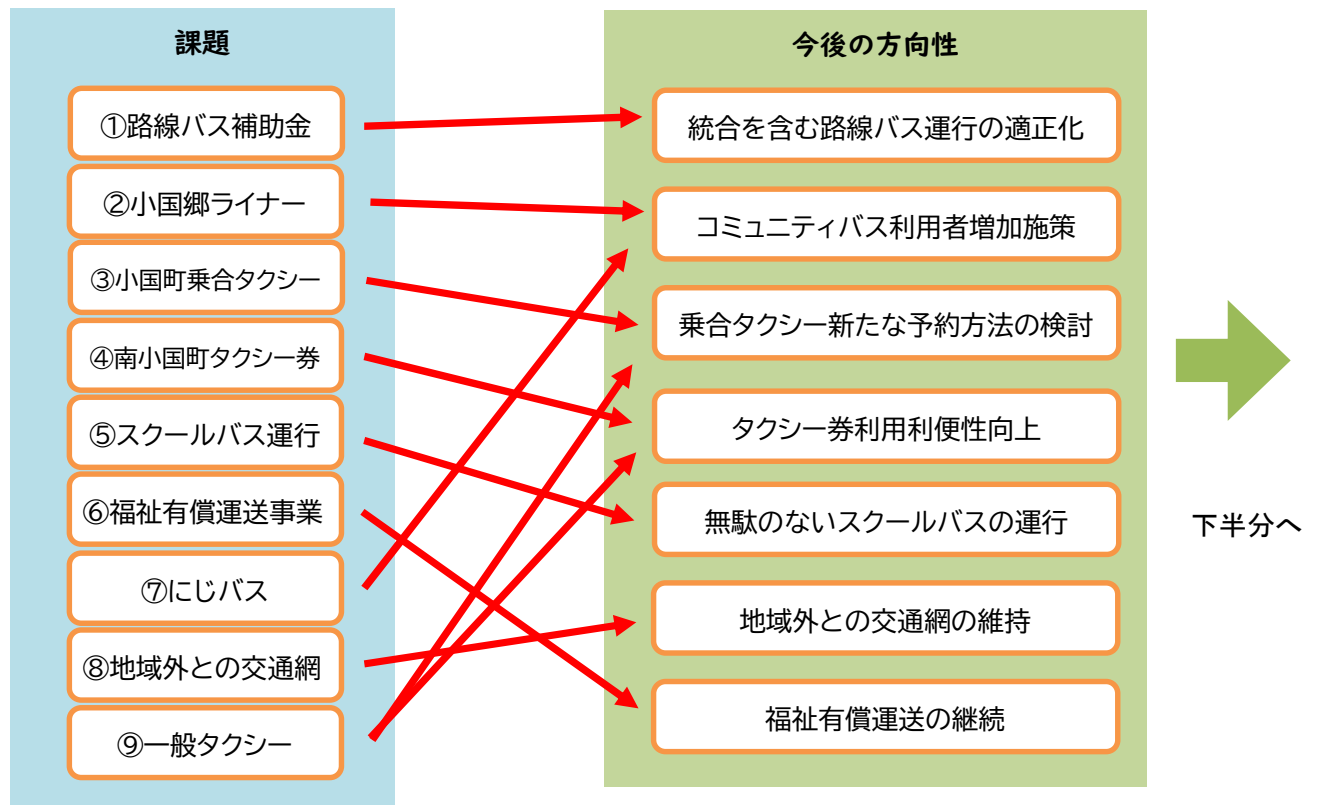
|            |   |             |
|------------|---|-------------|
| 現況値（令和５年度） | ⇒ | 目標値（令和１０年度） |
| 運行中        |   | 運行継続        |

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 数値指標⑦ | 公共交通利用者における交通満足度              |
| 選定理由  | 利用者のニーズに沿った公共交通となっているか把握するため。 |

小国郷における公共交通について、利用者の満足度を把握。

|            |   |             |
|------------|---|-------------|
| 現況値（令和５年度） | ⇒ | 目標値（令和１０年度） |
| -          |   | 25%以上       |

●計画の全体図



## 6. 目標達成に向けた施策

数値指標を達成するために必要な施策について下記のとおり設定します。

| 数値指標①達成のために必要な施策          |                                                                                                        |            |            |            |             |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|------------|-------------|
| (1) 路線バスの路線再編と既存の交通施策への統合 |                                                                                                        |            |            |            |             |
| 内容                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>交通に関する費用の最適化を図るため、路線バスの1便当たりの利用者数が少ない路線について再編の検討を行う。</li> </ul> |            |            |            |             |
| スケジュール                    | R 6 (2024)                                                                                             | R 7 (2025) | R 8 (2026) | R 9 (2027) | R 10 (2028) |
|                           | 検討・協議                                                                                                  | →          | 実施         | →<br>随時見直し | →<br>随時見直し  |
| 実施主体                      | 小国町<br>南小国町<br>交通事業者                                                                                   |            |            |            |             |

| 数値指標②達成のために必要な施策               |                                                                                                                              |            |            |            |             |
|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|------------|-------------|
| (１) 住民への認知度向上、回数券などの導入         |                                                                                                                              |            |            |            |             |
| 内容                             | ・ にじバスを頻繁に利用する方へ継続して利用していただくことや新たな利用者を増やすため、運行におけるお得な回数券の導入。また未だ認知度は高くないと思われることから、免許返納者への利用促進のため警察などとの連携、医療機関や福祉施設などとの連携を図る。 |            |            |            |             |
| スケジュール                         | R 6 (2024)                                                                                                                   | R 7 (2025) | R 8 (2026) | R 9 (2027) | R 10 (2028) |
|                                | 検討・協議                                                                                                                        | 実施         | →<br>随時見直し | →<br>随時見直し | →<br>随時見直し  |
| 実施主体                           | 小国郷地域公共交通会議<br>小国町<br>南小国町                                                                                                   |            |            |            |             |
| (２) 利用者へのヒアリングやアンケート調査によるニーズ把握 |                                                                                                                              |            |            |            |             |
| 内容                             | ・ にじバス利用者に向けて、改善点や良い点へのヒアリングとアンケート調査を実施し、それをもとに今後のコミュニティ交通のルートやあり方について検討                                                     |            |            |            |             |

|        |             |            |            |            |             |
|--------|-------------|------------|------------|------------|-------------|
|        |             |            |            |            |             |
| スケジュール | R 6 (2024)  | R 7 (2025) | R 8 (2026) | R 9 (2027) | R 10 (2028) |
|        | 実施          | →<br>随時実施  | →<br>随時実施  | →<br>随時実施  | →<br>随時実施   |
| 実施主体   | 小国郷地域公共交通会議 |            |            |            |             |

| 数値指標③達成のために必要な施策               |                                                                                                |            |            |            |             |
|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|------------|-------------|
| (１) 運行日や運行時期、便数について再編検討        |                                                                                                |            |            |            |             |
| 内容                             | ・小国郷ライナーは 1 月 2 月を除く毎週火・金・土・日・祝日を運行しているが、曜日や乗車便による人数などの分析を行い、再編を検討する。また、冬季時期についても運行可能かどうか検討する。 |            |            |            |             |
| スケジュール                         | R 6 (2024)                                                                                     | R 7 (2025) | R 8 (2026) | R 9 (2027) | R 10 (2028) |
|                                | 検討・協議                                                                                          | 実施         | →<br>随時見直し | →<br>随時見直し | →<br>随時見直し  |
| 実施主体                           | 小国郷地域公共交通会議<br>小国町<br>南小国町                                                                     |            |            |            |             |
| (２) 利用者へのヒアリングやアンケート調査によるニーズ把握 |                                                                                                |            |            |            |             |
| 内容                             | ・小国郷ライナー利用者に向けて、改善点や良い点へのヒアリングとアンケート調査を実施し、それをもとに今後のコミュニティ交通のルートやあり方について検討。                    |            |            |            |             |
| スケジュール                         | R 6 (2024)                                                                                     | R 7 (2025) | R 8 (2026) | R 9 (2027) | R 10 (2028) |
|                                | 実施                                                                                             | →<br>随時実施  | →<br>随時実施  | →<br>随時実施  | →<br>随時実施   |
| 実施主体                           | 小国郷地域公共交通会議                                                                                    |            |            |            |             |
| 数値指標④達成のために必要な施策               |                                                                                                |            |            |            |             |

| (１) 新たな予約システムの構築               |                                                                           |            |            |            |             |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|------------|------------|------------|-------------|
| 内容                             | ・乗合タクシー運行の最適化を行うため、スマートフォン等の電子機器でもネット予約が可能な予約システムの導入を検討する。                |            |            |            |             |
| スケジュール                         | R 6 (2024)                                                                | R 7 (2025) | R 8 (2026) | R 9 (2027) | R 10 (2028) |
|                                | 検討・協議                                                                     | 検討・協議      | 実施         | →          | →           |
| 実施主体                           | 小国町                                                                       |            |            |            |             |
| (２) 利用者へのヒアリングやアンケート調査によるニーズ把握 |                                                                           |            |            |            |             |
| 内容                             | ・乗合タクシー利用者に向けて、改善点や良い点へのヒアリングとアンケート調査を実施し、それをもとに今後の乗合タクシーの交通ルートや形態について検討。 |            |            |            |             |
| スケジュール                         | R 6 (2024)                                                                | R 7 (2025) | R 8 (2026) | R 9 (2027) | R 10 (2028) |
|                                | 実施                                                                        | →<br>随時実施  | →<br>随時実施  | →<br>随時実施  | →<br>随時実施   |
| 実施主体                           | 小国町                                                                       |            |            |            |             |

| 数値指標⑤達成のために必要な施策               |                                                                                 |            |            |            |             |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|------------|-------------|
| (1) 利用者へのヒアリングやアンケート調査によるニーズ把握 |                                                                                 |            |            |            |             |
| 内容                             | ・タクシー券助成事業の利用者に向けて、改善点や良い点へのヒアリングとアンケート調査を実施し、それをもとに今後のタクシー券の配布枚数や利用可能時間について検討。 |            |            |            |             |
| スケジュール                         | R 6 (2024)                                                                      | R 7 (2025) | R 8 (2026) | R 9 (2027) | R 10 (2028) |
|                                | 検討・協議                                                                           | →          | 実施         | →<br>随時見直し | →<br>随時見直し  |
| 実施主体                           | 南小国町                                                                            |            |            |            |             |

| 数値指標⑥達成のために必要な施策                |                                                                                                                             |            |            |            |             |
|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|------------|-------------|
| (1) 各路線利用予定者（小中学生）の状況に応じた路線の最適化 |                                                                                                                             |            |            |            |             |
| 内容                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス事業に関する費用の最適化を図り、適正な運行を継続していくため、各路線利用者の状況に沿って、運行台数や運行ルートについて見直しを行う。</li> </ul> |            |            |            |             |
| スケジュール                          | R 6 (2024)                                                                                                                  | R 7 (2025) | R 8 (2026) | R 9 (2027) | R 10 (2028) |
|                                 | 見直し・実施                                                                                                                      | →          | →          | →          | →           |
| 実施主体                            | 小国町<br>南小国町                                                                                                                 |            |            |            |             |

| 数値指標⑦達成のために必要な施策                        |                                                                                                                                                |            |            |            |             |
|-----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|------------|-------------|
| (1) コミュニティバス（にじバス・小国郷ライナー）などの利用者への満足度調査 |                                                                                                                                                |            |            |            |             |
| 内容                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバス（にじバス・小国郷ライナー）、乗合タクシー、タクシーチケット利用者に対して、公共交通への満足度調査を実施。併せて改善点やニーズも把握し、今後の公共交通施策へ反映する。</li> </ul> |            |            |            |             |
| スケジュール                                  | R 6 (2024)                                                                                                                                     | R 7 (2025) | R 8 (2026) | R 9 (2027) | R 10 (2028) |
|                                         | 実施                                                                                                                                             | 検証         | 実施         | 検証         | 実施          |
| 実施主体                                    | 小国郷公共交通会議                                                                                                                                      |            |            |            |             |

## 7. 計画の進捗管理

本計画は、関係者が相互に協力・連携を行いながら、小国郷地域公共交通会議が運用しながら進捗管理を行う。計画の数値指標について、毎年度実績値が把握できる指標は、毎年度進捗管理を実施し、達成状況に応じて事業の見直しや改善を行う。計画の最終年度には、記載があるすべての数値について把握し、その評価を行い、以後の計画策定や事業の見直しを行っていく。数値指標の評価の方法や時期については下記のとおりとする。

| 指標                         | 評価方法                  | 時期            |
|----------------------------|-----------------------|---------------|
| 路線バスの年間補助金額                | 南小国町、小国町が管理する情報により評価  | 毎年度実施         |
| にじバスの利用者数                  | 南小国町、小国町が管理する情報により評価  | 毎年度実施         |
| 小国郷ライナーの利用者数               | 南小国町、小国町が管理する情報により評価  | 毎年度実施         |
| 小国町乗合タクシー1 台当たりの平均乗車人数     | 小国町が管理する情報により評価       | 毎年度実施         |
| 南小国町タクシー券助成事業1 台当たりの平均乗車人数 | 南小国町が管理する情報により評価      | 毎年度実施         |
| スクールバスの運行継続                | スクール便の運行状況をもとに評価      | 毎年度実施         |
| 小国郷の交通施策における満足度            | 利用者へのアンケート・ヒアリングにより評価 | R6、R8、R10 に実施 |